

ソバ小畦立て播種による湿害回避と収量改善

1. はじめに

水田転換畑作物は、播種後の強雨による湿害で減収することがたびたびあります。今回は農業試験場を中心に開発した小畦立て播種技術による湿害回避と収量改善について紹介します。

2. 装置の概要、特徴と効果

- 1) 種子を地下に埋めず、地表面に並べおいて種子の両側の土を切り盛りして排水溝と畦を同時成形します(図1)。



小畦立て播種 平畦播種
図1 小畦立て播種と平畦播種の比較



図2 小畦立て播種装置装着図。ベース:RXG-6PSE(アグリテクノ矢崎)
既存の播種機の覆土板をはずし、鎮圧輪を小畦立て装置に換装する。

- 2) 既存の普及型播種機に簡単に装着・使用できます(図2)。

覆土輪をはずし、鎮圧輪を小畦立て装置に換装します。ディスクオープナの下端が作土に1~2cm 食込むように播種機の高さを調整してください。小畦立て装置は隣接する播種ユニットが前後します。後ろのディスクを、前のディスクより5cm 低く設定してください。播種後に乾燥が続くときは、大豆ほど水位をあげる必要はありませんが、畦間かん水を実施します。

- 3) 小畦立て播種によって湿害を回避できます(図3および4)。



小畦立て 平畦
図3 ソバ小畦立て播種による湿害発生状況の比較

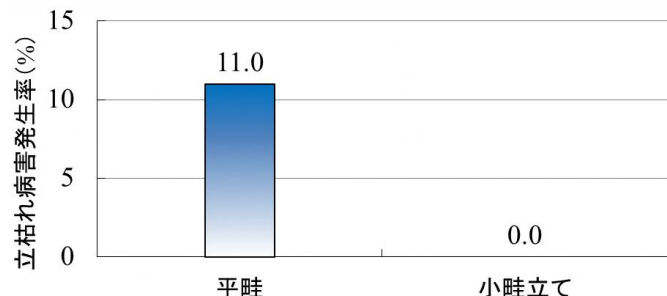


図4 小畦立て播種による立枯れ性病害発生低減
(福井市2地点, 大野市1地点)

- 4) 小畦立て播種で収量が向上します。(図5)

3. 使用上の注意

前作残渣や刈株が大きいと、対向ディスク間にたまる刈り株や雑草などが、小畦成形を邪魔するので、播種作業前にモアや荒耕などで作業下地を作ります。

4. 装置とコストについて

スライドロール式耐久型施肥播種機 RXG シリーズ(アグリテクノ矢崎)のオプション部品です。播種前の排水対策は従来通り実施します。装置1基当たりの単価は約34,000円(税抜)です。詳しくは お近くのJA、農機販売店などにお問い合わせください。

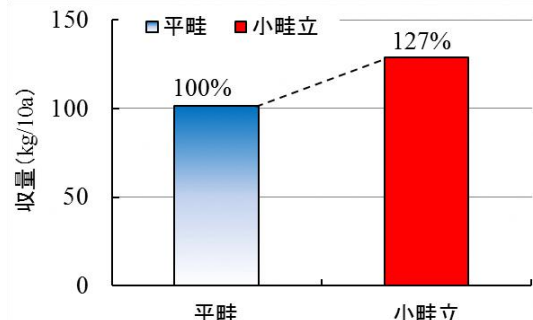


図5 ソバ小畦立て播種による収量の結果(2015および2016年平均)